腰野 律子さん 82歳 女性

1)入院後の経過 ●受け持ち初日:午後	【4 月 14 日(入院 2 日目)】 ○ 13 時 30 分に理学療法士が来棟。大腿四頭筋肉の等尺性運動を指導していた。「こうかしら」と指示に従いながら運動をした。「お婆さんになると嫌ね。何もできないわ。お家でも寝ていた時間があるから、筋肉が落ちてるんじゃない。足も細くなった気がするもの。なんでこんなことになっちゃったのかね。早く家に帰りたい」と大腿部をさすっていた。 ○ 15 時に尿意と便意の訴えがあった。排便のために怒責するが、排便はなかった。「腰が痛くて力めないの」と言っていた。安静時でNRSは2、怒責時の痛みはNRSで6だった。腹部の状態を確認すると、やや膨満がみられ、聴診では腸蠕動音が弱かった。しばらく排便を試みたが、排尿が少量あるのみで、排便はなかった。温罨法を促すと、「腰が痛いから、後にしましょう」と言った。しばらく様子をみることになった。 ○ 23 時頃、同室者よりナースコールがあった。腰野さんがガサガサとうるさいとのこと。様子を見に行くと、ベッドで横になったまま履いていたおむつをちぎっていた。どうしたのかと尋ねると、「床から水がわいてくるから何とかしなくちゃ」と険しい表情である。おむつを見ると尿汚染があった。清拭をして自身の下着(綿)を履くように促すと、「これがないとダメよ」と声を荒げておむつを指差す。そこでおむつを装着し看護師が、「きちんと拭きましたし、おむつがあたってますよ。安心してくださいね」と伝えるとうなずき、閉眼した。
●受け持ち 2 日目	【4 月 15 日(入院 3 日目)】 ○ 6 時に声を掛けると何事もなかったように笑顔をみせ、「おはようございます。今日は晴れてお天気ね」と外を指さした。 ○ 7 時にタオルを渡すと、「わー、気持ちがいい」と自分で顔を拭いた。
6)入院時検査結果 ●血液検査	WBC 5300/UL RBC 382×10 /UL Hb 12.7g/dl Ht 36.6% Plt 13.3×10⁴/UL CRP 0.10 mg/dl 以下 血糖(空腹時) 108mg/dl HgA1c 6.0% AST 24 IU/L ALT 16 IU/L TP 6.7g/dl ALB 3.8g/dl BUN 11mg/dl CRE 0.5mg/dl Na 138mEq/l K 3.6 mEq/l Cl 100 mEq/l Ca 8.5mEq/l
●その他	○ 腰椎X線検査…L1、L2楔状変形あり ○ MRI検査…L1、L2圧迫骨折 ○ 心電図…洞調律 ○ 胸部X線検査…透過性あり、異常陰影無し ○ 骨密度測定検査…YAM(若年成人平均値)60%